

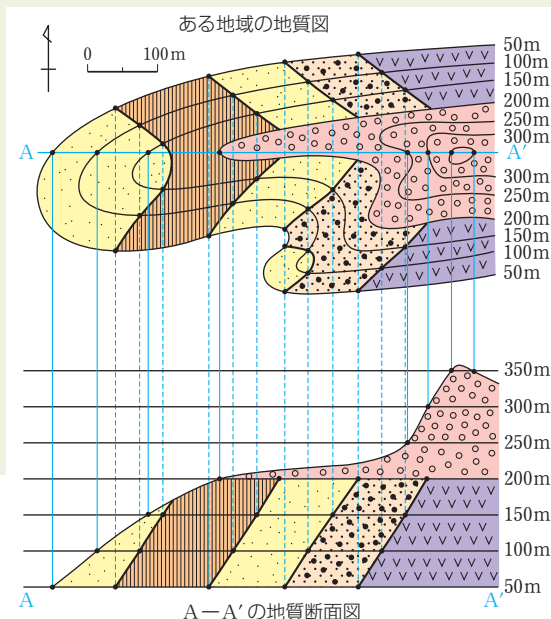
●地質図● ある地域に分布する岩体の種類や年代、岩体相互の関係や地層の堆積した順序(層序)などを表すために、地質図(地質平面図)や地質断面図、地質柱状図が用いられる。地質図は地形図上に岩石の分布を示した図で、地層の境界線のほか、図Vに示すような記号を用いてさまざまな地質構造も表現される。地質断面図では地下の地層や岩石の分布が断面図で示されている。また、地質柱状図は地層の累重関係を示す図で、図VIのように各地層の厚さ、種類、特徴や、化石が含まれていればその種類や名前などが示される。

5

10

- 泥岩
- 砂岩
- 砂混じり礫岩
- 礫岩
- 凝灰岩

▶図Ⅳ 地質図と地質断面図



- 地層の走向および傾斜 (この場合は、 $N60^{\circ}E, 20^{\circ}NW$)
- 水平な地層
- 垂直な地層 (この場合、走向は $N60^{\circ}E$)
- 地層の境界線
- 縦すれ断層 (細かい線の側が下降)
- 断層面 (走向 $N45^{\circ}E$ 傾斜 $70^{\circ}NW$)
- 背斜軸
- 向斜軸
- 褶曲軸 ($\rightarrow p.75$)
- 岩体や地層を示す模様の例
- 礫岩層
- 砂岩層
- 泥岩層
- 石灰岩層
- 深成岩体
- 火山岩体や凝灰岩層
- 変成岩体

▲図Ⅴ 地質図に使われる種々の記号

厚さ		
4m+	礫岩	
8m	砂岩(灰緑色、貝の化石あり)	
6m	泥岩(薄くはがれやすい、黒色)	
3m	凝灰岩(白色)	
6m	泥岩(黒色)	
15m+	砂岩(灰緑色、木の葉の化石あり)	

▲図Ⅵ 地質柱状図